

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月31日

上場会社名 ティ・エス テック株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7313 URL <http://www.tstech.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井上 満夫
 問合せ先責任者 (役職名) CSR部広報課長 (氏名) 倉田 真秀 (TEL) 048(462)1121
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	106,861	18.8	10,422	82.5	11,119	90.6	5,959	75.7
25年3月期第1四半期	89,916	47.6	5,712	—	5,835	848.8	3,392	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 14,329百万円(160.9%) 25年3月期第1四半期 5,491百万円(343.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	87.65	—
25年3月期第1四半期	49.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	226,887	147,972	58.6	1,953.86
25年3月期	207,700	137,523	59.2	1,808.75

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 132,859百万円 25年3月期 122,992百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	14.00	—	20.00	34.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	200,000	11.7	13,800	25.5	15,000	29.3	8,400	19.7	123.53
通 期	417,000	16.0	28,500	17.7	30,500	12.1	17,500	11.2	257.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
 新規 1 社 、除外 — 社
 (社名)TST MANUFACTURING DE MEXICO, S. DE (社名)
 R.L. DE C.V.

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	68,000,000株	25年3月期	68,000,000株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	1,709株	25年3月期	1,709株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	67,998,291株	25年3月期1Q	67,998,355株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの業績予想のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、様々な重要な要素により、これらの業績予想とは、大きく異なる結果となり得ることを、ご承知おきください。業績予想の前提となる仮定等については、添付資料4ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○目 次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項.....	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表.....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年6月30日）における連結業績は、北米を中心とした自動車需要の高まりを背景に順調に推移し、売上高は1,068億61百万円と前年同期に比べ169億45百万円（18.8%）の増収となりました。

利益面では、増収効果や昨年3月下旬まで洪水により操業を一時停止していたタイの連結子会社が正常稼働していること等により、営業利益は104億22百万円と前年同期に比べ47億10百万円（82.5%）の増益となりました。経常利益は111億19百万円と前年同期に比べ52億84百万円（90.6%）の増益、四半期純利益は59億59百万円と前年同期に比べ25億67百万円（75.7%）の増益となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりです。

（日本）

（単位：百万円）

	前第1四半期 累計期間	当第1四半期 累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	27,104	20,185	△6,919	△25.5%
営業利益	1,717	1,118	△598	△34.9%

前期との主な増減理由

売上高 主要客先からの受注台数減少により減収

営業利益 海外からのロイヤリティ収入増加による増益はあるものの、減収影響により減益

（米州）

（単位：百万円）

	前第1四半期 累計期間	当第1四半期 累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	42,738	54,798	12,060	28.2%
営業利益	3,074	4,988	1,914	62.2%

前期との主な増減理由

売上高 為替換算上の影響や主要客先からの受注台数増加により増収

営業利益 為替換算影響や増収効果により増益

(中国)

(単位：百万円)

	前第1四半期 累計期間	当第1四半期 累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	18,316	19,403	1,087	5.9%
営業利益	1,916	2,539	622	32.5%

前期との主な増減理由

売上高 主要客先からの受注台数は減少したものの、為替換算影響により増収

営業利益 為替換算影響や機種構成の変化、原価低減効果により増益

(アジア・欧州)

(単位：百万円)

	前第1四半期 累計期間	当第1四半期 累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	8,505	19,604	11,098	130.5%
営業利益	282	3,305	3,023	1,071.8%

前期との主な増減理由

売上高 昨年3月下旬まで、洪水により操業を一時停止していたタイの連結子会社が正常稼働していることや、為替換算上の影響により増収

営業利益 増収効果や機種構成の変化、為替換算影響により増益

また、事業別の売上高については下記のとおりであります。

(単位：百万円)

	前第1四半期 累計期間		当第1四半期 累計期間		前期比増減額	前期比増減率
		構成比		構成比		
二輪事業	1,570	1.7%	1,565	1.5%	△4	△0.3%
四輪事業	87,402	97.2%	104,294	97.6%	16,892	19.3%
(シート)	77,627	86.3%	92,493	86.6%	14,865	19.2%
(内装品)	9,774	10.9%	11,801	11.0%	2,026	20.7%
その他事業	943	1.1%	1,001	0.9%	57	6.1%
合計	89,916	100.0%	106,861	100.0%	16,945	18.8%

前期との主な増減理由

四輪事業 為替換算影響や主要客先からの受注台数増加により増収

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、2,268億87百万円と前連結会計年度末に比べ191億86百万円の増加となりました。これは、現金及び預金が増加したことに加え、主要客先からの受注増等により、受取手形及び売掛金が増加したことが主な要因です。

(負債)

負債合計は、789億14百万円と前連結会計年度末に比べ87億37百万円の増加となりました。これは、支払手形及び買掛金が増加したことに加え、増益に伴い未払法人税等が増加したことが主な要因です。

(純資産)

純資産合計は、1,479億72百万円と前連結会計年度末に比べ104億48百万円の増加となりました。これは、為替換算調整勘定のマイナス残高が減少したことに加え、利益剰余金が増加したことが主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の実績、現時点における主要客先からの受注動向及び為替動向を考慮した結果、平成25年4月26日公表の連結業績予想を変更していません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結累計期間において新たに設立しましたTST MANUFACTURING DE MEXICO, S. DE R. L. DE C. V.については、当第1四半期連結累計期間より連結の範囲に含めることとしました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第1四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	58,269	66,473
受取手形及び売掛金	48,806	53,968
商品及び製品	2,251	2,510
仕掛品	1,978	2,312
原材料及び貯蔵品	18,256	17,718
その他	7,046	8,134
貸倒引当金	△21	△20
流動資産合計	136,587	151,098
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	18,317	18,984
機械装置及び運搬具(純額)	12,430	12,742
その他(純額)	18,121	20,941
有形固定資産合計	48,869	52,668
無形固定資産	1,259	1,523
投資その他の資産	20,984	21,596
固定資産合計	71,113	75,788
資産合計	207,700	226,887
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	40,330	46,305
短期借入金	2,049	1,893
1年内返済予定の長期借入金	2,572	2,689
未払法人税等	1,716	3,875
引当金	2,476	1,523
その他	13,042	14,338
流動負債合計	62,188	70,627
固定負債		
長期借入金	210	151
引当金	621	720
その他	7,156	7,415
固定負債合計	7,988	8,287
負債合計	70,176	78,914

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,700	4,700
資本剰余金	5,163	5,163
利益剰余金	113,122	117,718
自己株式	△3	△3
株主資本合計	122,982	127,578
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,191	8,695
為替換算調整勘定	△8,181	△3,414
その他の包括利益累計額合計	9	5,280
少数株主持分	14,531	15,113
純資産合計	137,523	147,972
負債純資産合計	207,700	226,887

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	89,916	106,861
売上原価	78,190	89,343
売上総利益	11,725	17,518
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	882	1,069
給料及び手当	2,376	2,801
その他	2,753	3,224
販売費及び一般管理費合計	6,013	7,095
営業利益	5,712	10,422
営業外収益		
受取利息	225	252
受取配当金	71	78
受取地代家賃	54	44
為替差益	—	192
持分法による投資利益	96	91
その他	55	95
営業外収益合計	502	754
営業外費用		
支払利息	53	49
為替差損	323	—
その他	3	7
営業外費用合計	380	57
経常利益	5,835	11,119
特別利益		
固定資産売却益	9	15
その他	2	—
特別利益合計	12	15
特別損失		
固定資産売却損	8	2
固定資産除却損	27	145
減損損失	7	23
災害による損失	304	—
その他	4	0
特別損失合計	352	170
税金等調整前四半期純利益	5,495	10,964
法人税、住民税及び事業税	1,642	3,489
法人税等合計	1,642	3,489
少数株主損益調整前四半期純利益	3,852	7,474
少数株主利益	460	1,514
四半期純利益	3,392	5,959

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,852	7,474
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,037	510
為替換算調整勘定	2,619	6,255
持分法適用会社に対する持分相当額	56	88
その他の包括利益合計	1,638	6,854
四半期包括利益	5,491	14,329
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,134	11,230
少数株主に係る四半期包括利益	1,357	3,099

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	米州	中国	アジア・ 欧州	計		
売上高							
外部顧客への売上高	21,465	42,738	17,210	8,501	89,916	—	89,916
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,638	—	1,105	3	6,748	△6,748	—
計	27,104	42,738	18,316	8,505	96,664	△6,748	89,916
セグメント利益	1,717	3,074	1,916	282	6,990	△1,277	5,712

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,277百万円には、セグメント間取引消去115百万円、親会社の本社管理部門にかかる配賦不能営業費用△990百万円を含んでいます。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「米州」セグメントにおける遊休資産について、今後使用見込みがなく、売却が困難である為、帳簿価額の全額を減額し、当該減少額を減損損失として、7百万円を特別損失に計上しています。

当第1四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	米州	中国	アジア・ 欧州	計		
売上高							
外部顧客への売上高	14,417	54,761	18,209	19,472	106,861	—	106,861
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,768	36	1,194	131	7,130	△7,130	—
計	20,185	54,798	19,403	19,604	113,991	△7,130	106,861
セグメント利益	1,118	4,988	2,539	3,305	11,952	△1,529	10,422

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,529百万円には、セグメント間取引消去△262百万円、親会社の本社管理部門にかかる配賦不能営業費用△1,053百万円を含んでいます。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」及び「米州」セグメントにおける遊休資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しています。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間において、「日本」セグメントで7百万円、「米州」セグメントで15百万円です。

(のれんの金額の重要な変動)

当第1四半期連結累計期間において、当社連結子会社であるTS Tech Americas, Inc.が、他社の所有するTS TECH DO BRASIL LTDA.の持分を取得したことに伴い、「米州」セグメントにおいて213百万円のものれんを計上しています。